

第18回 清溪セミナー開催のご案内

少子高齢化が一段と進む地域社会での自治体経営のあり方。東日本大震災から2年半を経過しても遅々として進まない被災地での復興。いじめや体罰による子供らの自殺をめぐる教育委員会制度の今日的役割とは。様々な課題に直面する地方行政と議会。今年も地方自治に関係する議会人をはじめとした関係者を対象に、「地域社会と日本のビジョン」の構築を目指す地方政治のあり方を議論し、参加者同士のネットワーク化を図るために清溪セミナーを開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

清溪セミナー実行委員会 委員長 坂本純治(茨城県大洗町議会議員)

日時 平成**25**年**11**月**13**日(水) 13:00~19:30
14日(木) 9:30~21:00
15日(金) 9:00~11:00

会場 **日本青年館ホテル 3階国際ホールほか**
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7-1
電話03-3475-2550(総務)

参加対象 趣旨に賛同する首長、議員および地方政治に関心のある人を中心に130名。

参加費 28,000円(資料代、会場代他)

その他の経費 (希望者、いずれも税込)
宿泊・食事はいずれも日本青年館です。

宿泊代 1泊	6,300円(洋室2名様でご利用時の一人料金)
	8,500円(シングル利用)
交流パーティー(13日)	6,000円
朝食代(14日/15日)1食	1,400円
昼食代(14日)	1,100円
夕食代(14日)	2,200円

- 申し込み方法**
- ①同封の申し込み書にてFaxして下さい。
 - ②申し込み書のない方は、下記事務局まで電話またはメールにてご連絡下さい。
申込書をメールまたはFaxします。なお、申込書は下記ホームページからもダウンロードできます。
<http://www.nippon-seinenkan.or.jp/18seminer/index.htm>
 - ③申込書受付後に請求書をメールまたはFaxしますの
で指定口座にお振込み下さい。

※ご不明な点は清溪セミナー事務局までお問い合わせ下さい。

申し込み締め切り 平成25年11月2日(土)

主催 清溪セミナー実行委員会 / **共催** 財団法人日本青年館

後援：全国知事会 / 全国市長会 / 全国町村会 / 全国都道府県議会議長会 / 全国市議会議長会 /
全国町村議会議長会 / 公益社団法人日本青年会議所 / 日本青年団協議会

第18回 清溪セミナープログラム

第1日目 11月13日(水)

11:00 実行委員会 301会議室

12:00 開場・受付 国際ホール

13:00 開会

13:20 講座Ⅰ「人口減少社会における地域経営」

講演 福島 浩彦 (中央学院大学社会システム研究所教授)



鳥取県生まれ、57歳。千葉県我孫子市議会議員を経て、1985年38歳で我孫子市長。2007年の退任まで3期12年務め、市補助金の公募と市民審査、市職員採用での民間試験委員、常設型市民投票条例の制定、コミュニティビジネスの育成、市民債による自然環境の保全、提案型公共サービス民営化など、市民自治を理念とした自治体経営に取り組んだ。この間、全国青年市長会会長、福祉自治体ユニット代表幹事などに就任。市長退任後は、中央学院大学教授、東京財団上席研究員、新しい公共をつくる市民キャビネット共同代表、行政刷新会議・事業仕分け民間評価者(仕分け人)などを務める。2010年10月には消費者庁長官(第2代)に就任。消費者安全法の改正に取り組む。2012年8月に2年間の任期を終え、大学に復帰した。主な著書には、「市民自治の可能性(ぎょうせい)」、「公民連携白書2009~2010(共著、時事通信社)」、「公会計改革~ディスクロージャーが「見える行政」をつくる(共著、日本経済新聞社)」等。

15:15

15:30 講座Ⅱ「震災復興と地域コミュニティの再生」

講演 井口 経明 (宮城県岩沼市長)



昭和20年東京都生まれ。仙台一高から宮城教育大学教育学部卒業。学習塾経営から市議に転じ、通算7期。市議会議長(2期)。平成10年に市長就任。趣味は史跡巡りと音楽鑑賞。座右の銘は「誠心誠意」。

17:45

18:00 交流パーティー 4階宴会場「アルデ」



セミナー風景

第2日目 11月14日(木)

9:30 講座Ⅲ シンポジウム「教育委員会は地域コミュニティにとって必要なのか」

パネリスト 工藤 一徳 (福岡県自治振興組合専門員)



1977年4月 福岡県春日市役所入庁。2001年4月より教育委員会配属。学校教育課教職員係長をスタートに、学校教育課長補佐、学校教育課長を経て、2009年から学校教育部長、2013年3月定年により春日市退職。2013年4月から福岡県自治振興組合に専門員として勤務、現在に至る。教育委員会事務局配属以降、2代の教育長の下、コミュニティ・スクールの導入、推進に当たると共に、事務局改革と教育委員会活性化に取り組み、その経緯を事務局として「教育委員会活性化への挑戦・10年の軌跡(春日市教育委員会編著)」にまとめ各種教育委員会関係機関に発信。「教職研修(教育開発研究所)」で紹介されると共に、「週刊教育資料(日本教育新聞社編集)」、「地方自治職員研修(公職研発行)」等でも春日市の取り組みを報告し、その内容は「日本教育新聞」「TBSニュース23」等でも取り上げられている。

12:00

パネリスト 工藤 日出夫 (生涯学習ゆめ・みらい研究所主宰)



1942年北海道生まれ。1970年代から社会教育図書出版社で企画編集者として、全国の社会教育・公民館を取材。生涯学習と出会い、地域で社会教育活動を実践する。日高市生涯学習指導員や北本市社会教育委員長などを歴任。専門分野は、地方自治、生涯学習政策、社会教育政策、地域振興政策、青少年教育活動。現在、北本市議会議員。主な著書に「未来型公民館への7つの条件 (日常出版)」、「よく分かる社会教育委員の活動 (日常出版)」等多数。

コーディネーター 中西 茂 (読売新聞東京本社調査研究所本部主任研究員)



社会部時代に旧文部省を担当。解説部次長、編集委員として、2005年から始まった長期連載「教育ルネッサンス」のデスクを4年あまり務めた。文部科学省の中央教育審議会臨時委員。富山、金沢、静岡、福島、札幌での勤務も経験。著書に、「異端の系譜 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (中公新書ラクレ)」、「教育ルネッサンス 教師力 (中央公論新社、編著)」、「学力危機 北海道教育で地域を守れ (中西出版、編著)」など。

13:00

講座Ⅳ 「日本の教育委員会制度の本質：『民主主義』対『中立性・継続性』」

講演 岡本 薫 (政策研究院大学教授)



1955年、東京都生まれ。東京大学理学部卒業。専門はChorology (地域地理学)。OECD (経済協力開発機構) 研究員、内閣審議官、文科省企画・体育課長等を経て、2006年から現職。主な著書に「日本を滅ぼす教育論議 (講談社現代新書)」、「新 不思議の国の学校教育 (第一法規出版)」、「世間さまが許さない (ちくま新書)」、「入門・生涯学習政策 (全日本社会教育連合会)」等多数。

14:30

14:45

講座Ⅴ 「2014年の政治を予測する」

講演 福岡 政行 (白鷗大学教授・東北福祉大学特任教授)



1945年9月9日東京葛飾区生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、早稲田大学大学院にて政治学研究科博士課程修了。明治学院大学非常勤講師、駒澤大学専任講師、助教授を経て1992年白鷗大学法学部教授に就任。立命館大学客員教授、東北福祉大学特任教授を兼任。

政治学を学ぶ上で、机上の研究よりもフィールドワークを重視し、何事にも現場を観察することが肝心というのがモットー。全国各地から得た生の情報のもとに、実証的政治学を研究している。また、ボランティア活動にも積極的に関わっている。これまで阪神淡路大震災はじめ三宅島噴火、新潟中越地震、兵庫県佐用町台風災害、奄美大島豪雨災害、東日本大震災、そしてカンボジアの子どもたちへの支援活動をゼミ学生と共に行っており、現在「アシスト (ジャパン) の会」の事務局長を務める。清溪セミナー常任講師。

16:15

16:30

特別講座 「ヤンキー先生の教育再生論」

講演 義家 弘介 (衆議院議員)



1971年3月31日生まれ、長野県出身。1988年北海道北星学園余市高等学校に編入。明治学院大学法学部卒業後、母校北星学園余市高校の教師になる。2003年ドキュメンタリー番組が放送され、大反響を呼ぶ。同年「ヤンキー母校に帰る」がドラマ化。2005年横浜市教育委員会教育委員に就任。翌年、内閣官房教育再生会議担当室室長に就任。2007年、東北福祉大学特任准教授、7月の参議院議員選挙に出馬、当選。自民党政務調査会文部科学部会長等を務め、2012年に参議院議員を辞職して、神奈川県第16区選挙区にて衆議院議員選挙当選。12月、文部科学大臣政務官に就任。

17:30

19:30

特別討論会「学生アンケート結果から見る若者の実情」

ディスカッション 進行「早稲田大学鵬志会」

21:00

早稲田大学鵬志会は「現場現実主義」の理念の下で活動を行う大学内政治サークル。清溪セミナーではその運営の裏方として関わっている。鵬志会の目的は、実際の政治の場に身を置き、常に現実に向き合っていくことにより、会員自らの見識を磨き、会員各自の目的のために勉強し合い、高めあうための場としてしていることである。主な活動は大隈講堂での年二回の講演会をはじめとして会員各々が選挙の手伝いや秘書活動、政党の学生部に所属するなど先に掲げた理念の下で行われている。清溪セミナーでは、全国各地の地方政治家とのふれあいにより生の地域活動を体験できる場として活動の大変貴重な場となっている。

第3日目 11月15日(金)

9:00

講座VI「分権改革と首長、議会の変化」

講演 富野 暉一郎(龍谷大学政策学部特任教授)

10:30



1944年神奈川県生まれ、69歳。京都大学理学部宇宙物理学科卒業。逗子市長、神奈川県市町村研修センター理事、全国青年市長会理事等を歴任。また世界市長会議に出席するなど、海外における日本の地方自治に関する講演・紹介活動を行う。島根大学及び龍谷大学においては、地方自治論及び地域経営論を研究、地方自治を地球規模の新たな枠組みの中に位置づけるグローカリズムを提唱し、フィールドワークとして、自治体国際活動・市民自治及び地域社会の発展に関する調査研究に取り組む。

10:30

閉会

清溪セミナー実行委員会

事務局：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7-1 (財)日本青年館総務課内

清溪セミナー事務局(担当：江口/小森)

電話：03-3475-2550 FAX：03-3475-6605

E-mail：seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

平成25年度清溪セミナー実行委員会 役員名簿

委員長	坂本 純治(茨城県大洗町議会議員)	委員	田中 けん(東京都江戸川区議会議員)
委員長代行	小松原 俊(山形県酒田市議会議員)		長谷川清司(千葉県浦安市議会議員)
	白井えり子(愛知県日進市議会議員)		内田 俊彦(山梨県北杜市議会議員)
副委員長	渡辺 政巳(宮城県丸森町)		宮前 宏司(富山県富山市議会議員)
	佐藤 和夫(栃木県真岡市議会議員)		吉田 康弘(富山県小矢部市議会議員)
	吉田つとむ(東京都町田市議会議員)		久保田満宏(富山県魚津市議会議員)
	中村 重樹(富山県小矢部市議会議員)		小林 貴幸(長野県佐久市議会議員)
	川田 礼子(香川県さぬき市議会議員)		高橋 秀和(岐阜県本巣市議会議員)
	江口 徹(福岡県飯塚市議会議員)		市野 善隆(三重県桑名市議会議員)
幹事	中村 和彦(栃木県真岡市議会議員)		桂 三発(三重県津市議会議員)
	柞山 数男(富山県富山市議会議員)		稲田 悦治(大阪府岸和田市議会議員)
	岡田 初雄(兵庫県宍粟市議会議員)		大同 衛(京都府京丹後市)
	宮田 公人(岡山県高梁市議会議員)		荒川 浩司(京都府福知山市)
	寺岡 公章(広島県大竹市議会議員)		藤田 彰裕(鳥根県松江市議会議員)
	森高 康行(愛媛県議会議員)		岡崎 正淳(広島県福山市議会議員)
	田中 貞男(香川県東かがわ市議会議員)		元親 孝志(愛媛県西予市議会議員)
	白倉 和子(佐賀県佐賀市議会議員)		松山 清(愛媛県西予市議会議員)
委員	田口 聡(秋田県議会議員)		中村 與弘(長崎県波佐見町議会議員)
	永野 渉(宮城県利府町議会議員)		松下 育郎(鹿児島県いちき串木野市)
	田中 斉(山形県酒田市議会議員)	監事	松井 秀明(群馬県みなかみ町)
	山口 淳一(群馬県太田市議会議員)		増田 豊(茨城県桜川市議会議員)